



# JPBA WOMEN'S ALL★STAR GAME 2022

2月12~13日  
北小金ボウル

## 結果にコミット! 肉体改造で 三浦美里 進化の2勝目

▶グリコの初優勝から約9カ月で両目を開けたが、内容には納得できていないととん欲だ



◀「体づくりの取り組みで、下半身が安定してきた」と三浦

女子プロにとって出場することが大きな目標となってきた『JPBA WOMEN'S ALL★STAR GAME』だが、今年もプロツアーの開幕戦として2月12、13の両日、千葉・北小金ボウルで開催された。折からのオミクロン株の感染爆発中とあって、残念ながら昨年に続き無観客で行われたが、前年度公認トーナメント優勝者シードの権利で出場権を得た三浦美里(47期・フリー)がそのチャンスを生かして、昨年5月の『グリコセブンティーンアイス杯』に続く2勝目を挙げた。(主催:北小金ボウル)

「レーンの変化が早いのは覚悟していたけど、緊張でパニックってしまった」と苦しむ中島に対し、三浦もストライクは続いていたが、「シングルピンのミスは絶対しないぞと思っていた」と、苦手意識のある⑩ピンも、残った3度をきっちりカバー。7フレのストライクをダブルへつなげたかった中島だが、8フレはヘッドを外しワッシャー。8フレから会心のダブルで勝負を決めた三浦が、2つめのタイトルを手にした。



◀優勝決定戦で敗れたが、今年も活躍が期待される中島「去年の成績は自信になっているけど、逆にフレッシャーにもなっている」

シードプロ24名に、三浦、そして主催者推薦の本間成美を加えた26名が総当たり戦及びポジションマッチ2Gの計27G(各G勝利ボーナス30P)を行い、上位5名を決勝ステップラダーに選出した。

1Gごとに目まぐるしい順位の変動があったが、デビューイヤーの昨年いきなり2勝を挙げるなど旋風を起こした中島瑞葵が、終盤の8連勝でトップシードを獲得した。全体1位の18勝を挙げた三浦が2位、初日の20位から巻き返した霜出佳奈が3位、公式戦5連勝中で、第1回大会(2019年)の覇者・姫路麗が4位、第2回大会でその姫路を優勝決定戦で下した坂本かやが5位で進出した。

### [5位決定戦]

序盤2つのオープンを作った坂本が、4フレからのフォース

で立て直したのに対し、姫路は逆に後半3つのスプリット、7フレは珍しい⑩カバーミスもあって、坂本が214:156で勝ち上がり、姫路の公式戦の連勝は5でストップした。

### [4位決定戦]

4位決定戦は、1マークリードの霜出が7フレのスプリットで、ほぼ横並びのまま終盤勝負へ。8、9フレをともにストライクのあと、10フレ1投目ストライクを持ってきた霜出に対し、坂本はややしすぎたか④を残す9本カウント。208:190で霜出が勝ち上がった。

### [3位決定戦]

三浦の1フレは「ボールが指に乗らないで、そのままどこかへ消えていきました」と、ガターでのスタート。しかし2フレからのフォースで立て直し、9フレを終わってまったくの同



▲昨年の大岡産業から3位、4位、3位と連続上位入賞に「3年目がまったくダメだったので、やっとここまで戻ってこられた」と霜出

ピンで10フレ勝負となった。1投目をともにストライクのあと霜出の2投目は厚めで7本カウント。2投目もストライクを持ってきた三浦が221:209で優勝決定戦へ進んだ。

### [優勝決定戦]

ダブルスタートの中島だったが、3フレは⑩⑩スプリット。カバーにいった2投目は2本のピンの間をすり抜けてしまった。3フレは①②④をカバーミスで連続オープン。

### 優勝・三浦のコメント

昨年はグリコで優勝できたけど、他の大会がいまいちだったり、気持ちよくプレーができなかったのが、年明けからアスリートとして一から鍛え直そうと、紹介してもらったライザップに通い体づくりをしています。そのほかこの大会に向けて、自分でできる準備はしてきたつもりだけど、こんなにすぐ結果につながるとは、自分でも驚いています。

3位決定戦のいきなりのガターはびっくりしました。緊張しているのもわからないくらい緊張していたのかなと思います。指穴のフィーリングがよくなかったので、すぐにボールを替えました。10フレは幅を感じられる方のレーンだったことであって、しっかり投げ切ることができました。

優勝決定戦の中島プロの強さはわかってはいたけど、3位決



定戦を投げている分、ボールもラインも決まっていた、そこに自分がきちっと投げられるかという状況でスタートできた。⑩ピンの苦い思い出を払拭するために一生懸命練習もしてきたので、最後のゲームは自分のことを信じて投げられました。でもグリコのときよりも優勝の実感が無い。どうしても弱い自分が出てきてしまっていたと思うので、もっと堂々と格好いい姿を見せることが今後の課題です。  
優勝ボール: STORMマーヴェルマックス・ブラック



◀連勝が5で止まった姫路「いいボウリングが続いてきた。久しぶりに悪いなかでも決勝に残れて、今年も優勝のチャンスがある」と思えた



▲姫路の連勝をストップした坂本「全日本に続いて決勝ステップラダーには残れたけど、もっともっと練習してレベルアップしたい」

### ●優勝決定戦

中島 瑞葵									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
28	46	54	63	82	102	121	130	149	158
三浦 美里									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
20	40	60	77	97	117	137	167	196	216

### ●決勝ステップラダー

